

平成 2 9 年度市民意識調査 報告書

佐 倉 市

目 次

1. 調査の概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査の設計	3
(3) 配布・回収結果	3
(4) 報告書の見方	3
2. 調査の結果	4
(1) 共通項目（属性等）	4
(2) 福祉・健康編	17
①地域福祉活動	17
②健康づくり	30
③子育て支援	33
④障害者福祉	34
⑤高齢者福祉	42
(3) まちづくり・地域活動編	51
①都市基盤整備	51
②地域コミュニティ	62
③平和	62
④多文化共生	65
⑤情報発信・市民意見反映	68
⑥公共施設	76
⑦行政手続	77
(4) 教育・産業編	78
①青少年	78
②教育、スポーツ活動	81
③商工業、文化・芸術・観光	89
(5) 共通項目（新ご当地ナンバー）	96
(6) 共通項目（自由意見等）	97
①観光・イベント	97
②公共交通（バス・タクシー）	100
③公共交通（鉄道・その他）	102
④シティプロモーション・定住促進	102
⑤道路・歩道・街路灯	105
⑥まちづくり	106
⑦自然・環境	108
⑧駅周辺の活性化	110
⑨産業振興	111
⑩公共施設	112

⑪防災・防犯.....	113
⑫教育.....	114
⑬児童福祉・子育て支援.....	116
⑭公園.....	117
⑮図書館.....	118
⑯スポーツ・健康増進.....	119
⑰市民意識調査.....	120
⑱広報.....	121
⑲市職員.....	122
⑳ごみ.....	123
㉑高齢者・障害者福祉.....	124
㉒地域間格差.....	125
㉓新ご当地ナンバー.....	126
㉔市税.....	126
㉕地域コミュニティ.....	127
㉖大学誘致.....	128
㉗市長・市議会.....	128
㉘上下水道.....	129
㉙医療・介護.....	129
㉚その他.....	129

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

佐倉市では、将来都市像「歴史 自然 文化のまち～「佐倉」へのおもいをかたちに～」の実現に向けて、「定住人口の維持」、「交流人口の増加」、「選ばれるまちづくり」を重点政策として掲げ、各種施策に取り組んでいる。

本調査は、佐倉市の取組等に対する市民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、施策の実施・評価の参考とすることにより、行政サービスの向上を行いながら、将来像の実現を図るために実施するもの。

(2) 調査の設計

この調査は、以下「調査種類」欄に記載している①～③の3つの調査から構成（各調査の対象者数は1,200名で、調査ごとの回答者は3グループに分かれる）。

調査地域	佐倉市全域
調査対象	市内在住の18歳以上の男女
調査種類	①福祉・健康編（地域福祉活動、健康づくり、子育て支援、障害者・高齢者福祉） ②まちづくり・地域活動編（都市基盤整備、地域コミュニティ、平和、多文化共生、情報発信・市民意見反映、公共施設、行政手続） ③教育・産業編（青少年、教育、スポーツ活動、商工業、文化・芸術・観光） ※各調査共通：属性、新ご当地ナンバー、自由意見等
対象者数	各調査1,200名（合計3,600名）
抽出方法	住民基本台帳から層化多段無作為抽出
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	平成29年7月28日～平成29年8月21日

(3) 配布・回収結果

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
①福祉・健康編	1,200	351	29.3%
②まちづくり・地域活動編	1,200	361	30.1%
③教育・産業編	1,200	382	31.8%
合 計	3,600	1,094	30.4%

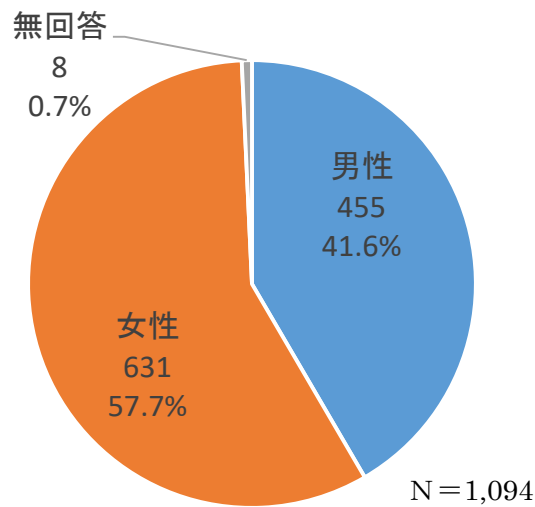
(4) 報告書の見方

- 「構成比」は、各項目の回答数を回答総数で除し、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。このため、構成比の合計が100%にならないことがある。
- 複数回答の質問の「回答数」の「計」は、回答総数ではなく回答者総数を表示。また、各選択肢の「構成比」は、回答数を回答総数ではなく回答者総数で除しており、「構成比」の「計」は100%を超えるため斜線表示としている。
- 自由記載回答は、同様の回答内容の集計や誤植の修正等を行っている。

2. 調査の結果

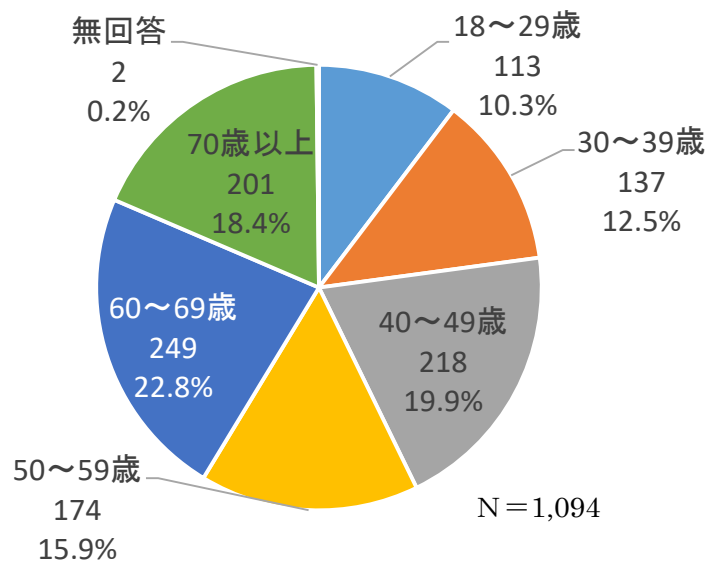
(1) 共通項目（属性等）

問1 性別 【1つ選択】



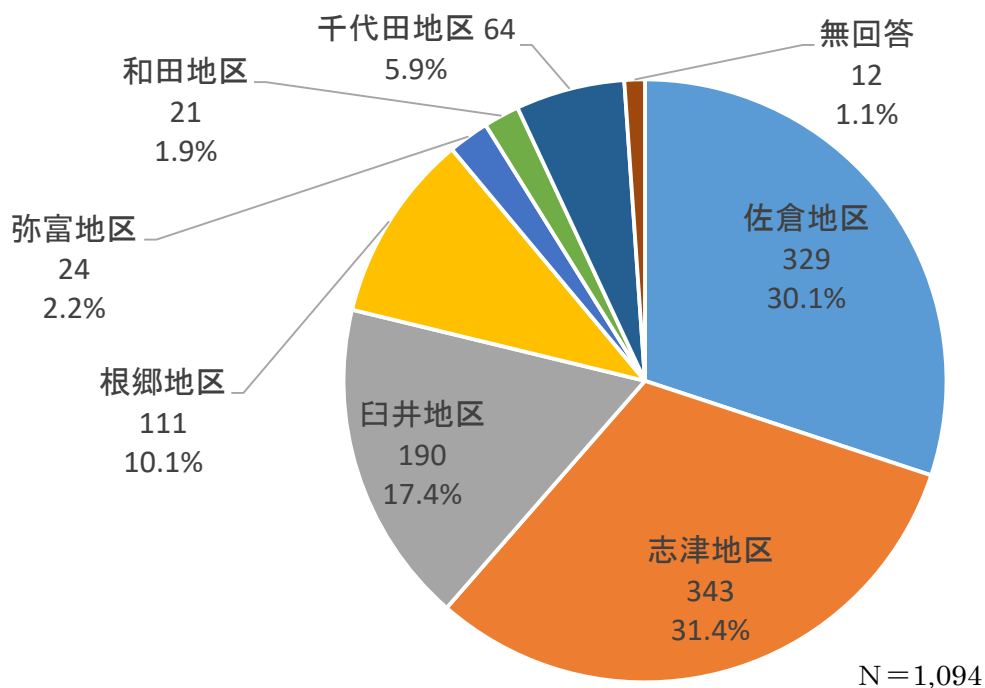
調査の種類	男性	女性	無回答	計
①福祉・健康編	148	201	2	351
②まちづくり・地域活動編	157	201	3	361
③教育・産業編	150	229	3	382
計	455	631	8	1,094

問2 年齢 【1つ選択】



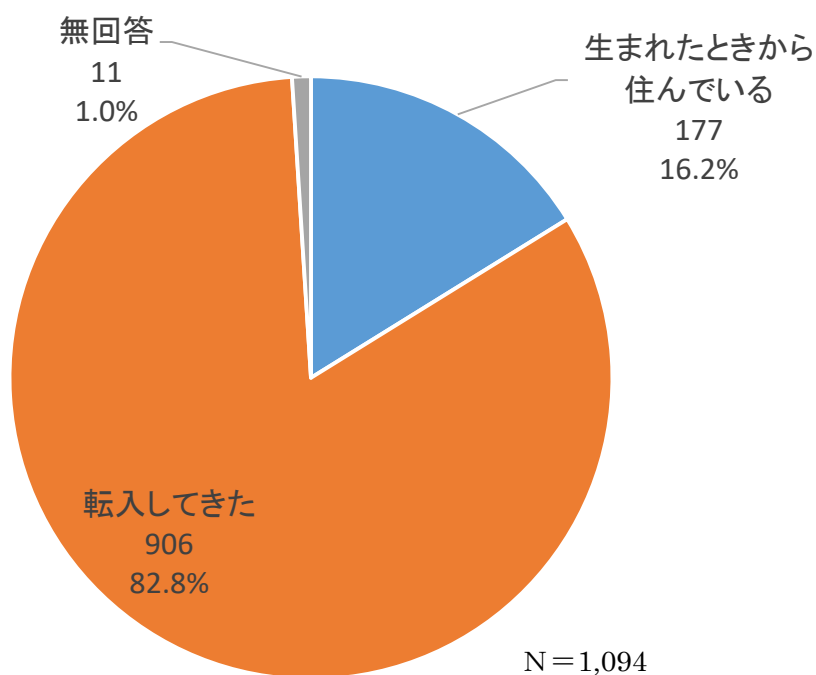
調査の種類	18~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	無回答	計
①福祉・健康編	43	47	58	52	80	70	1	351
②まちづくり・地域活動編	30	44	75	62	83	66	1	361
③教育・産業編	40	46	85	60	86	65	0	382
計	113	137	218	174	249	201	2	1,094

問3 お住まいの地区 【1つ選択】

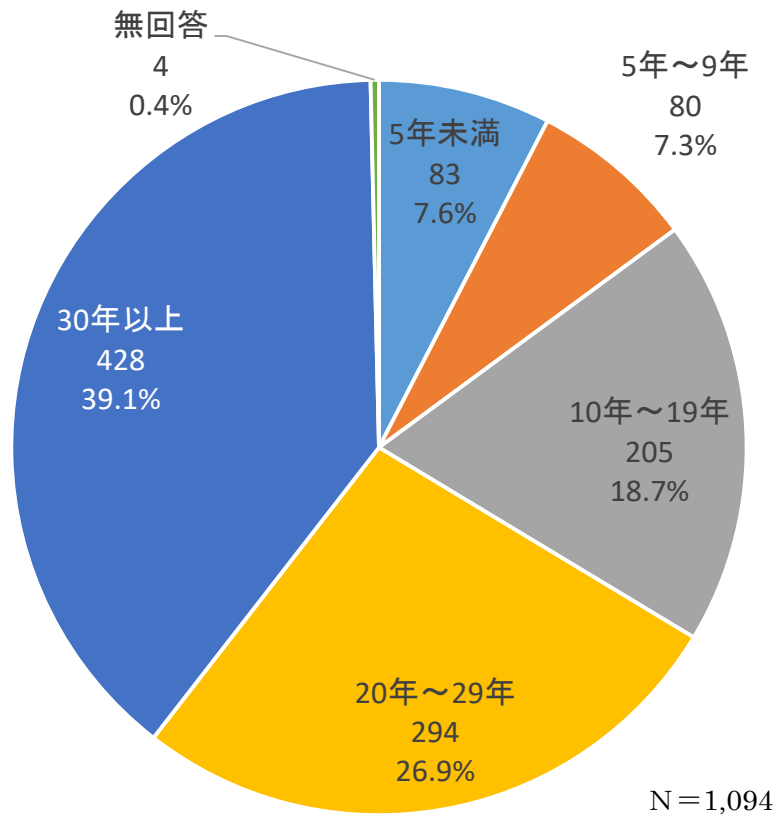


調査の種類	佐倉	志津	臼井	根郷	弥富	和田	千代田	無回答	計
①福祉・健康編	104	105	70	34	7	10	12	9	351
②まちづくり ・地域活動編	107	108	66	38	10	6	23	3	361
③教育・産業編	118	130	54	39	7	5	29	0	382
計	329	343	190	111	24	21	64	12	1,094

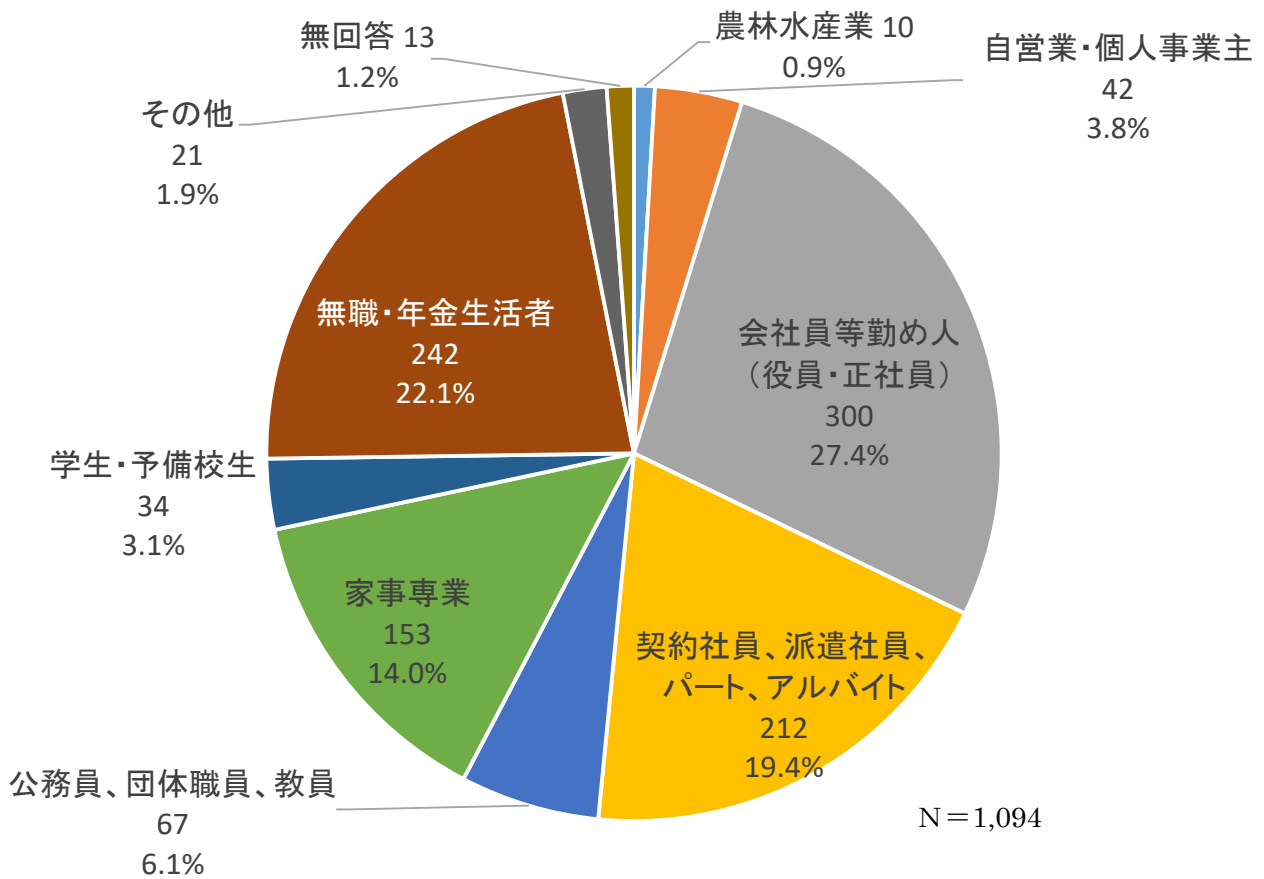
問4 佐倉市に転入してきましたか。 【1つ選択】



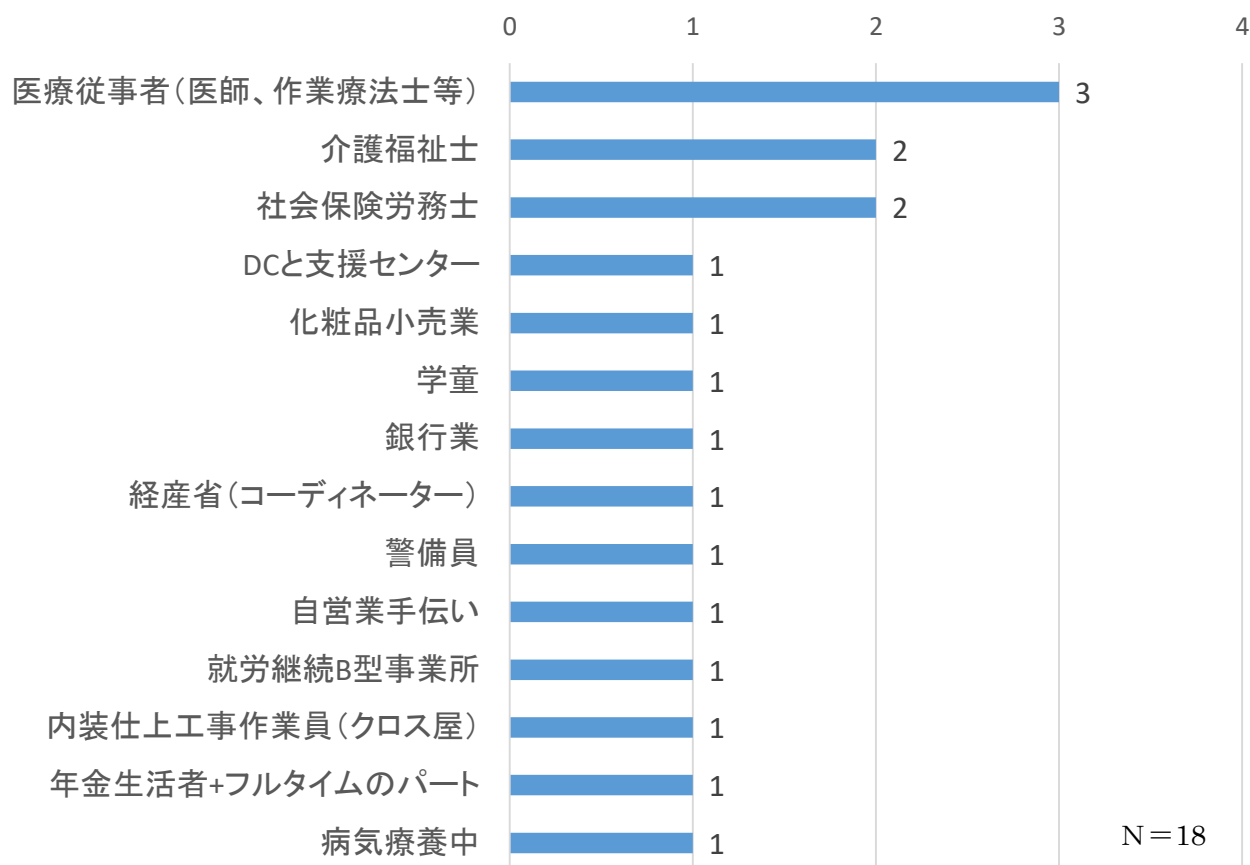
問5 佐倉市の居住期間 【1つ選択】



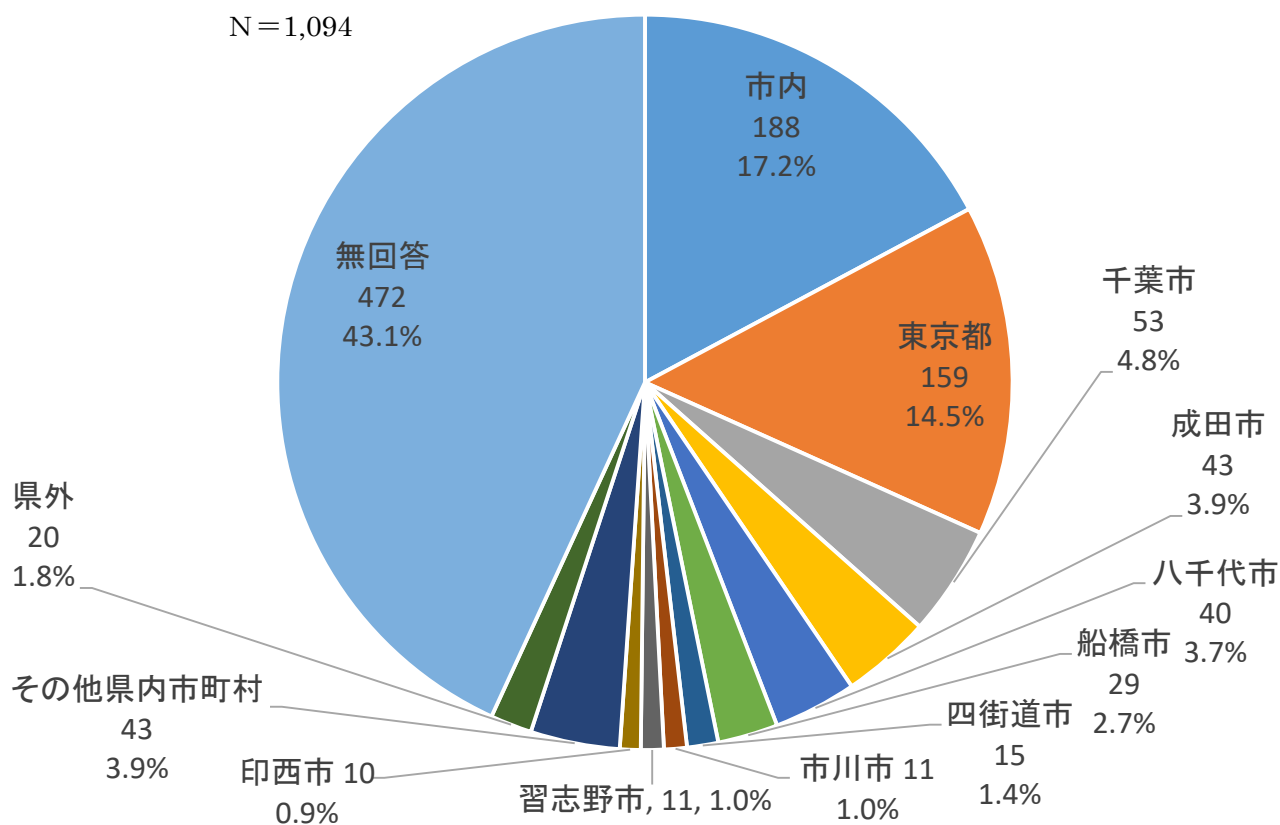
問6 職業 【1つ選択】



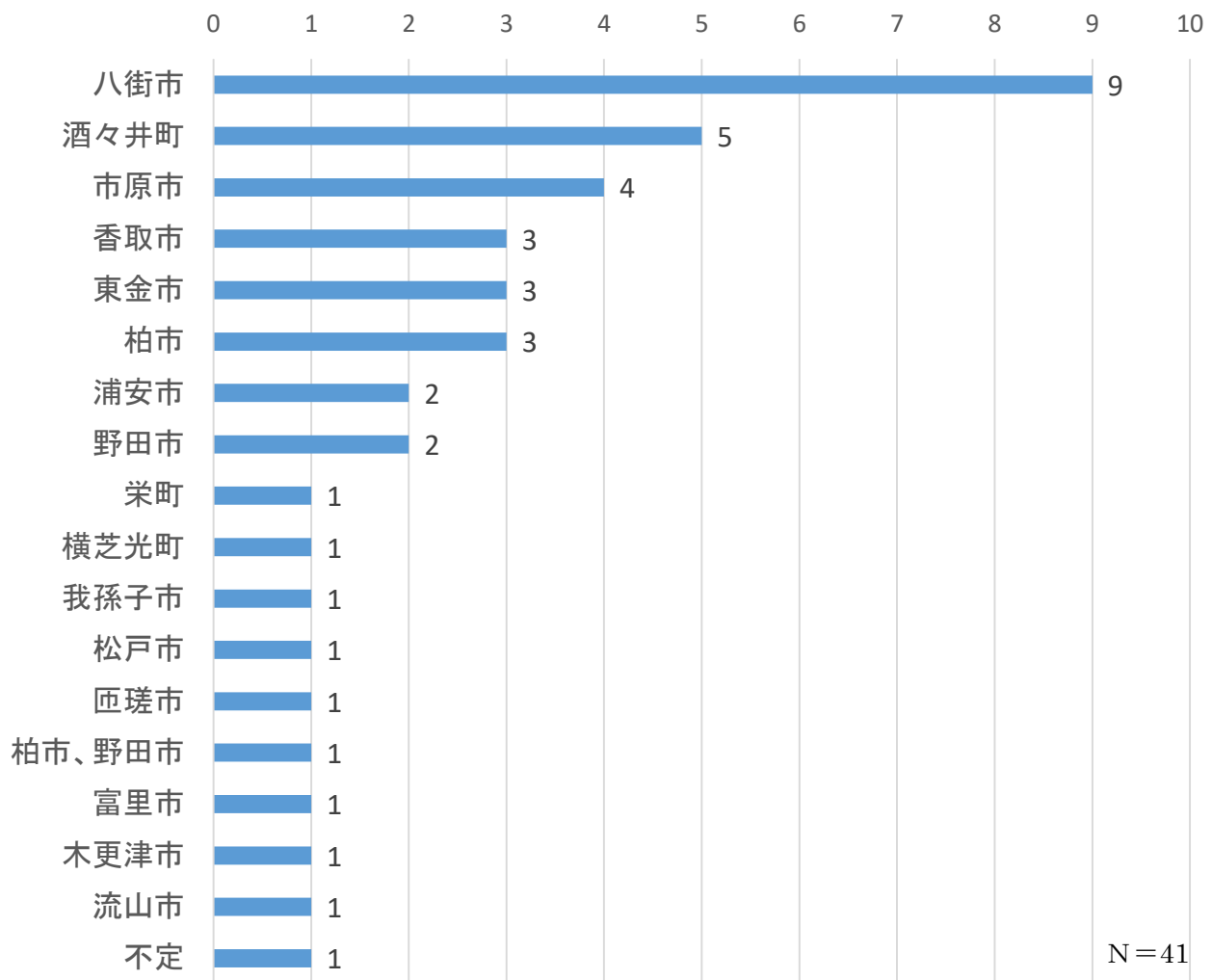
「その他」の具体的内容



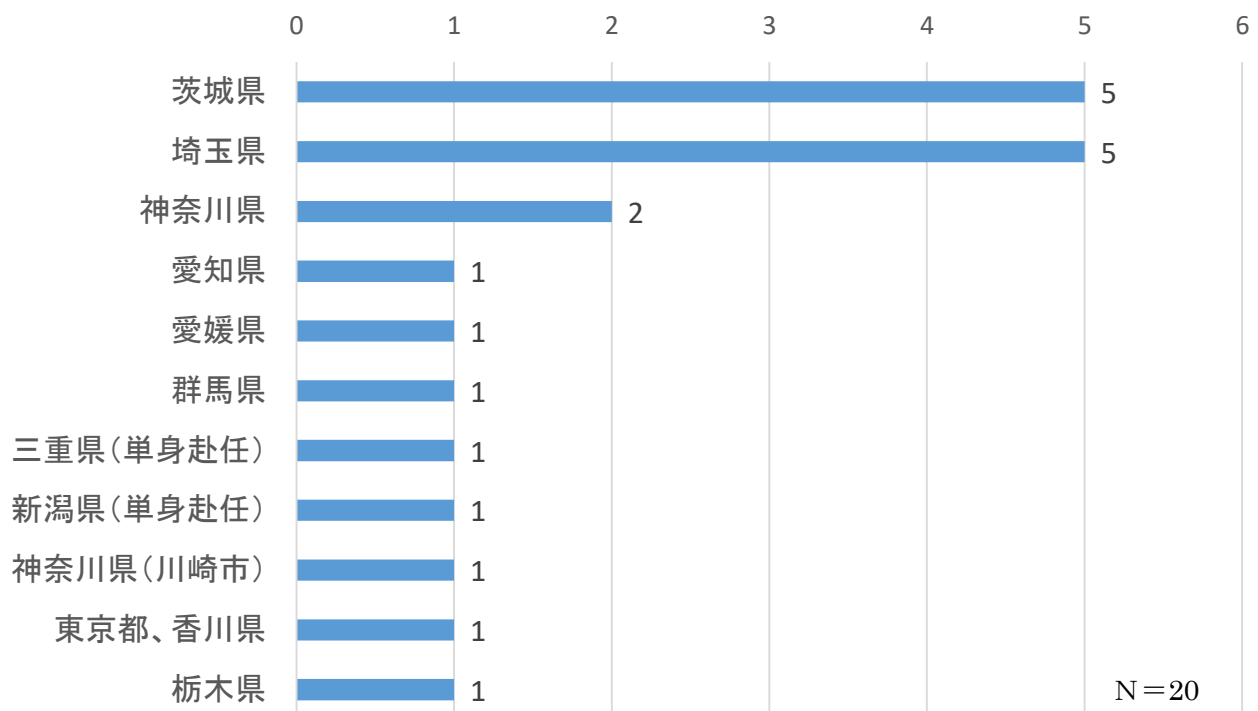
問7 (通勤・通学している方に伺います) 通勤・通学先 【1つ選択】



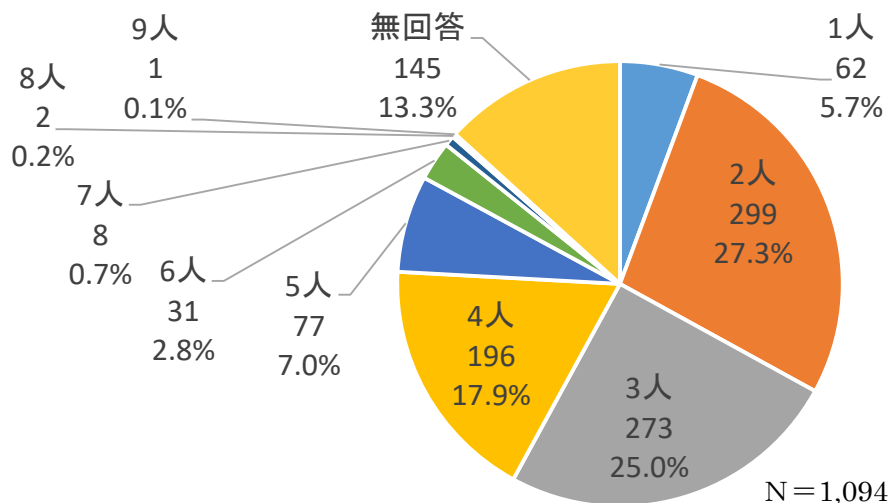
「その他県内市町村」の具体的内容



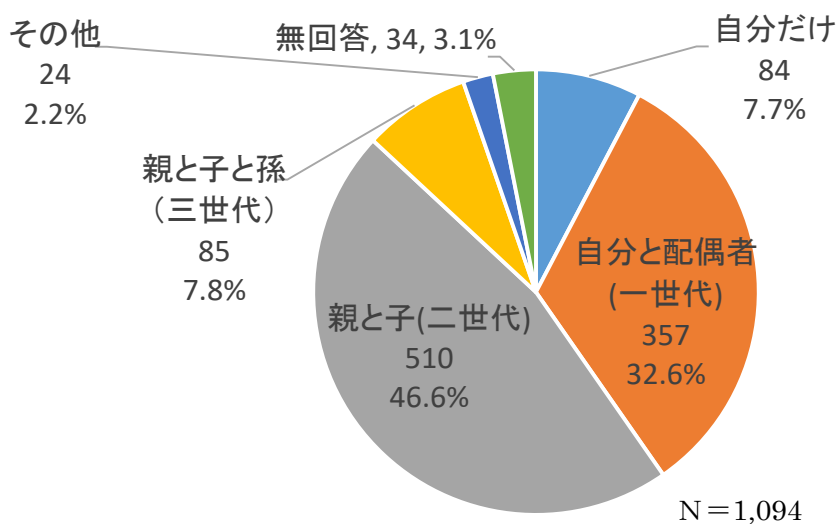
「県外」の具体的内容



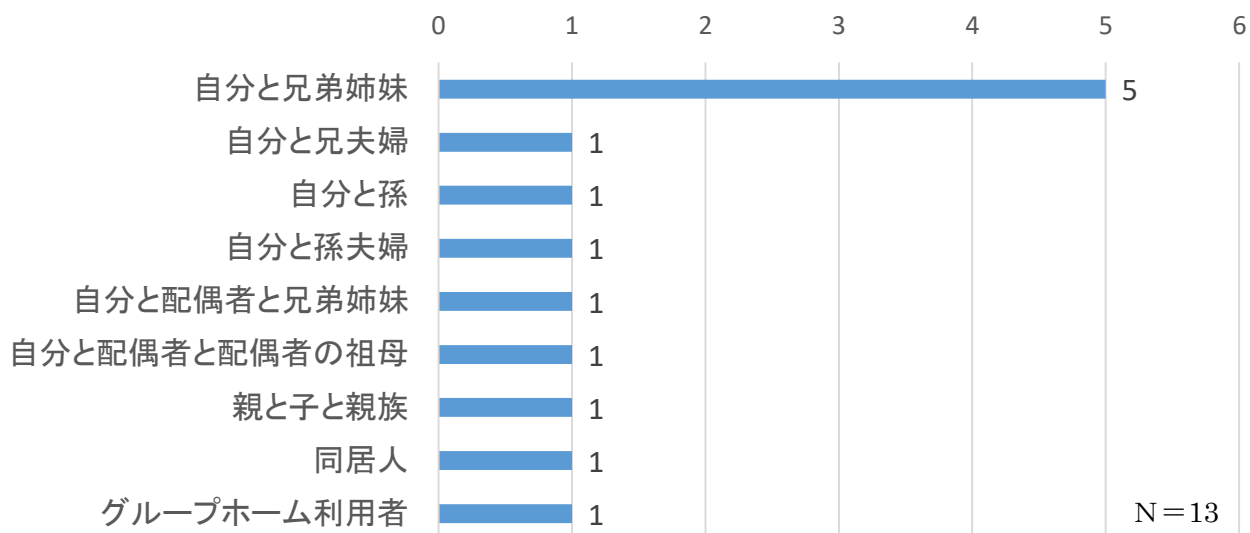
問 8 一緒に住んでいる家族 家族の人数 あなたを含めて () 人



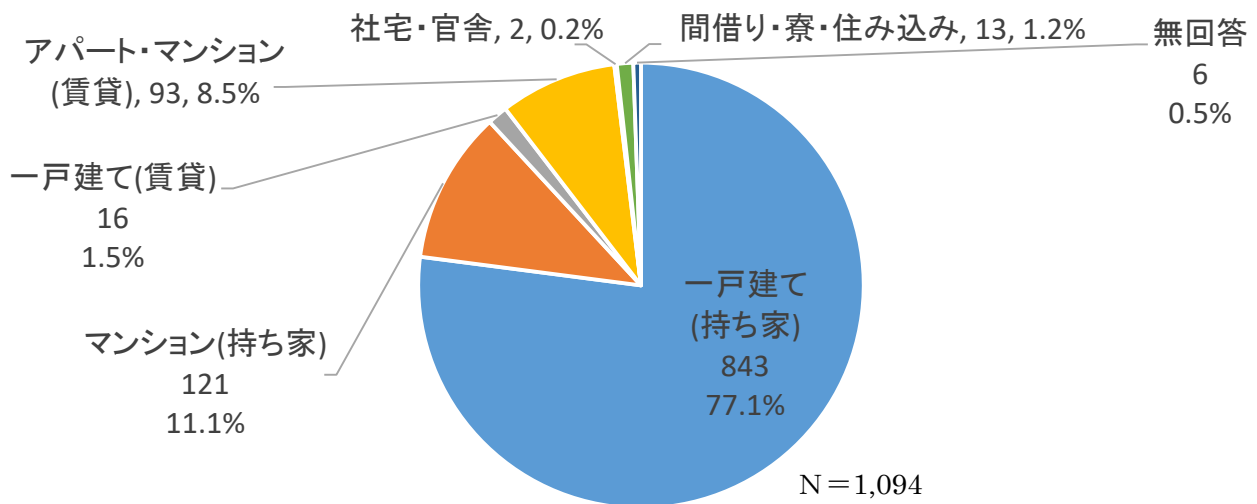
問 8-2 家族構成 【1つ選択】



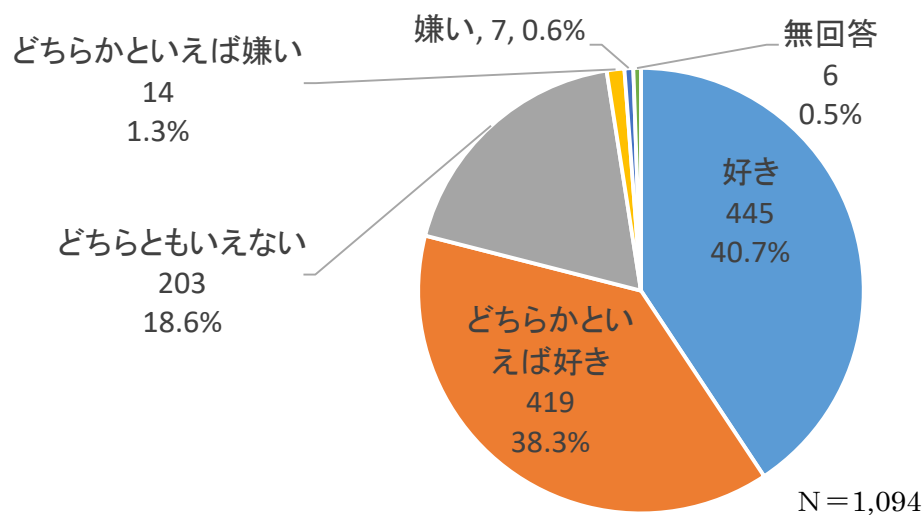
「その他」の具体的内容



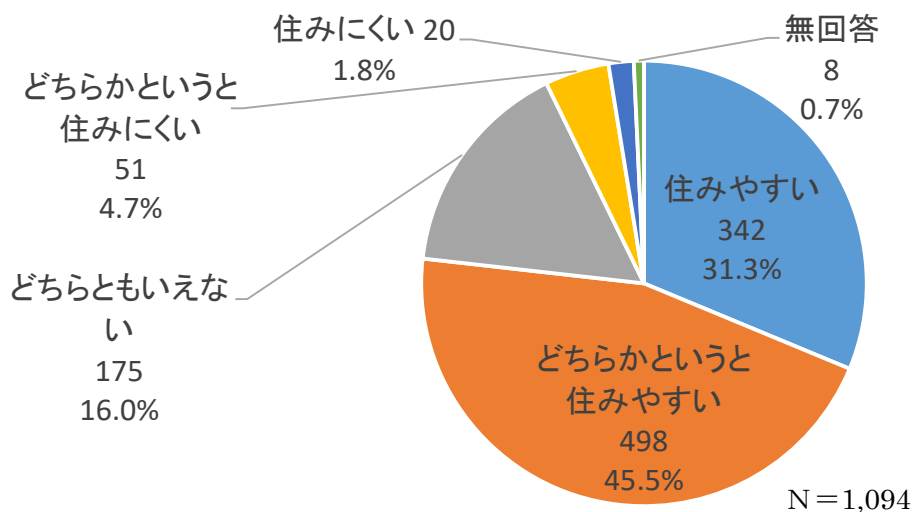
問9 お住まい 【1つ選択】



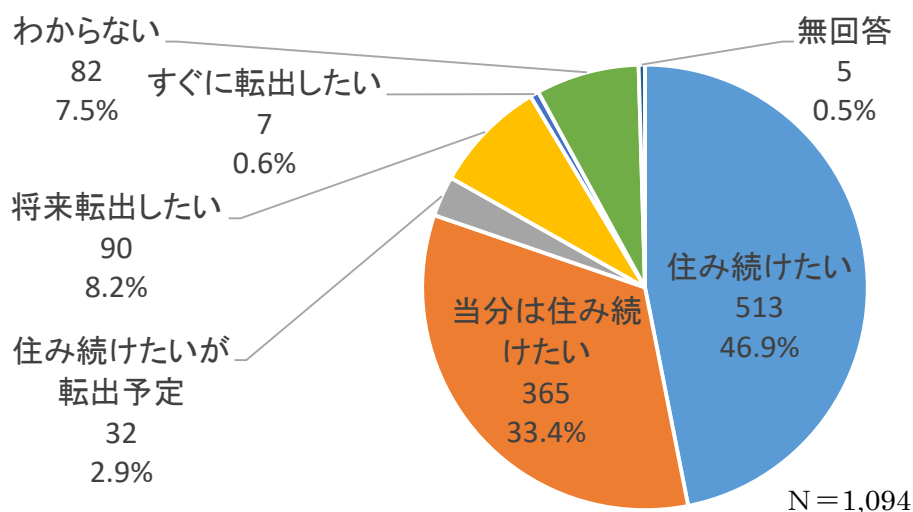
問10 佐倉市が好きですか。【1つ選択】



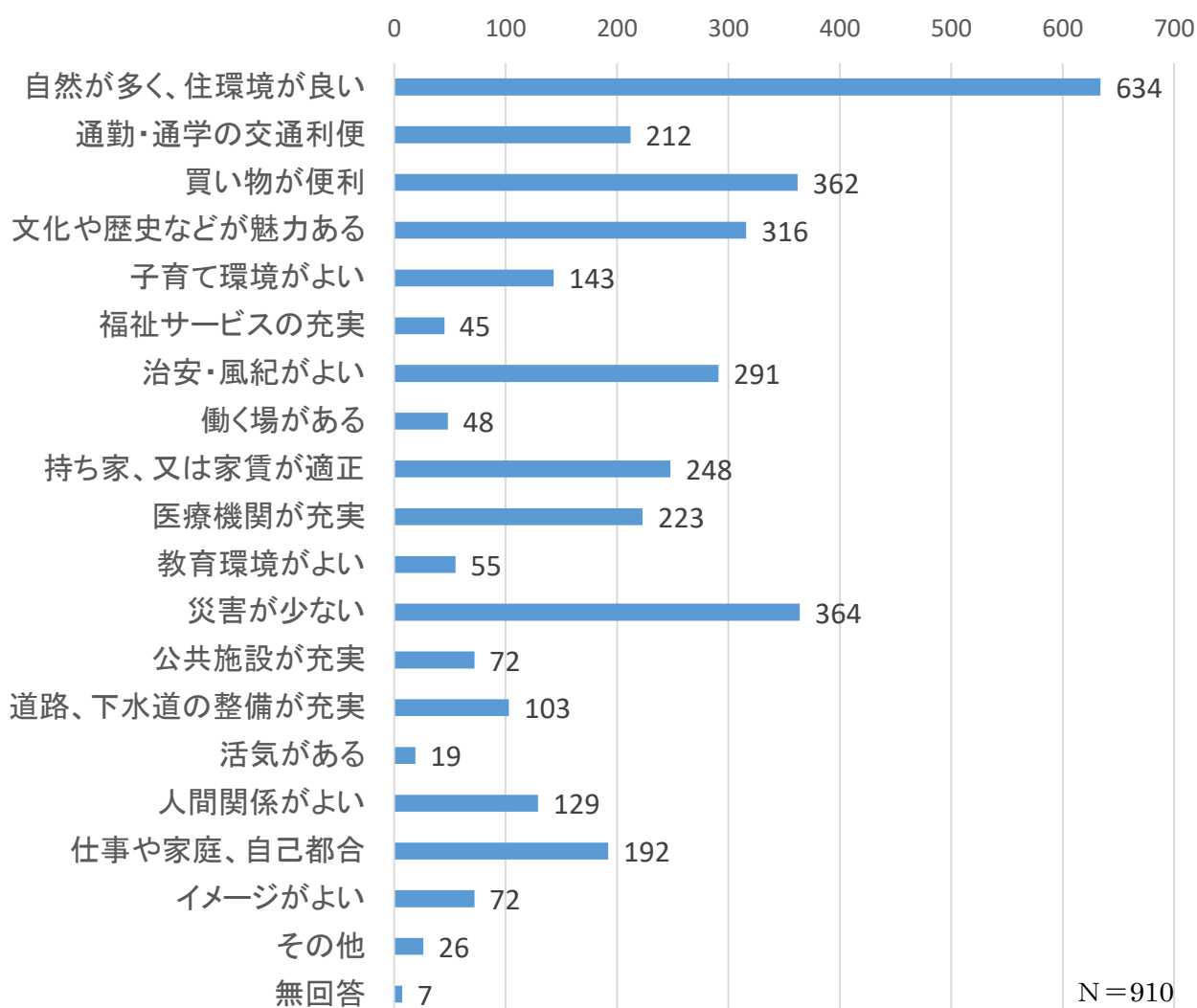
問11 佐倉市の住み心地をどのように感じますか。【1つ選択】



問 12 今後も佐倉市に住み続けたいですか。【1つ選択】



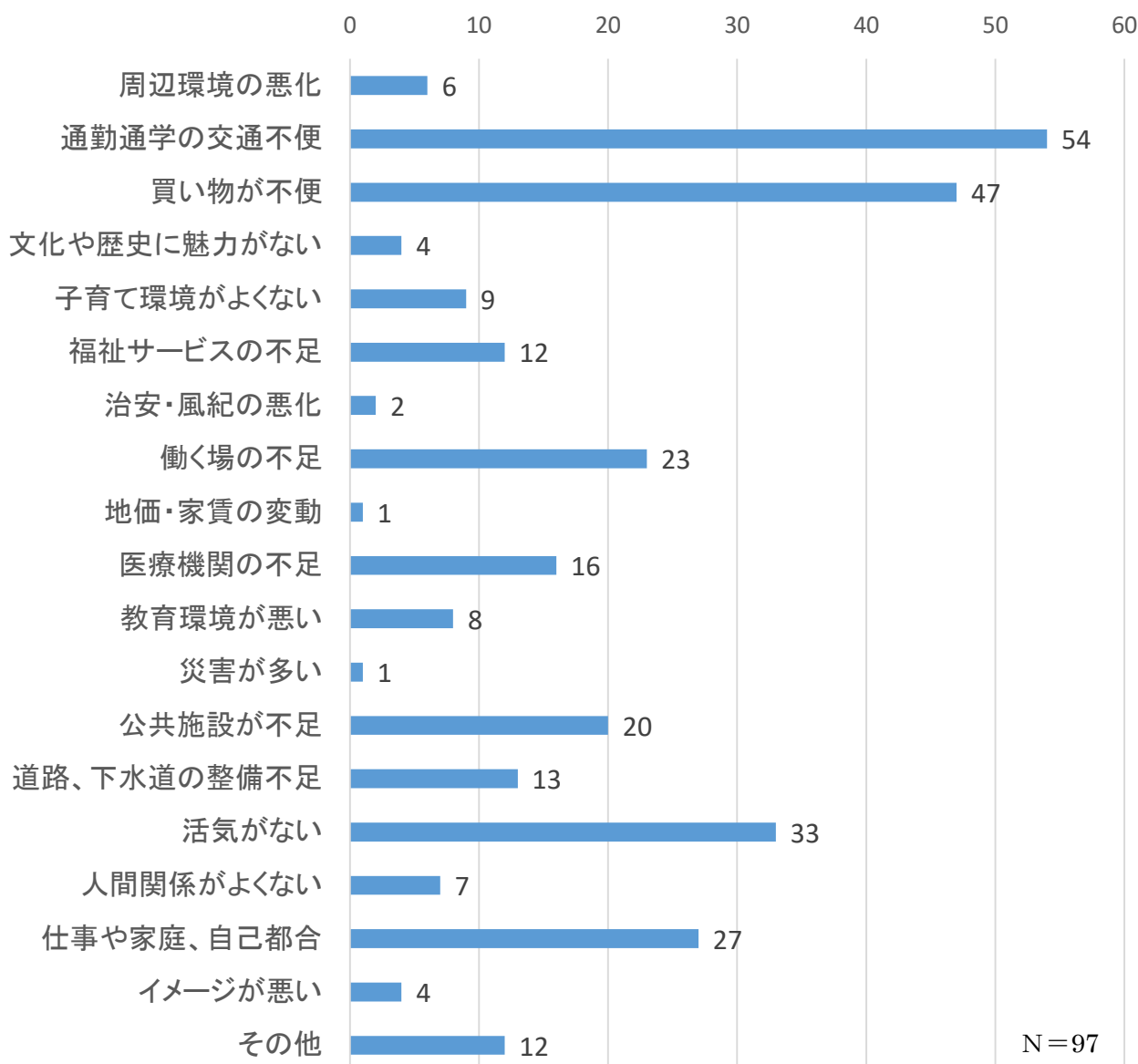
問 13 問 12 で「住み続けたい」、「当分は住み続けたい」又は「住み続けたいが転出予定」のいずれかを選んだ方に伺います。住み続けたい理由は何ですか。【あてはまるものすべて選択】



「その他」の具体的内容

☐	親の都合
☐	物価が安い
☐	ユーカリが丘だから住みたい。
☐	物価が都内に比べ安い。
☐	生まれ育った所だから
☐	雰囲気が優しくて落ち着く
☐	住めば都でなれ親しんでいる為、他との比較はしていない
☐	住環境が静か。
☐	実家がある
☐	特にない。
☐	両親が市内に住んでいるため、様子を見に行きやすい。
☐	家を建ててしまった為
☐	妻の実家が近い
☐	両親も市内だから
☐	幼少期からの思い出のある地なので離れたくない
☐	東京に住みたくないが、遊び、買い物に近くてよい。
☐	住めば都、仕方なく
☐	なんとなく
☐	今後車の運転不可能になったときは心配だが車で運転可能時は買い物便利。
☐	住み続けなければ、限界集落になる可能性大。絶やすわけにはいかない
☐	市民大学に参加でき、佐倉について詳しく学べた
☐	転出予定がないから
☐	近所に友人がいる

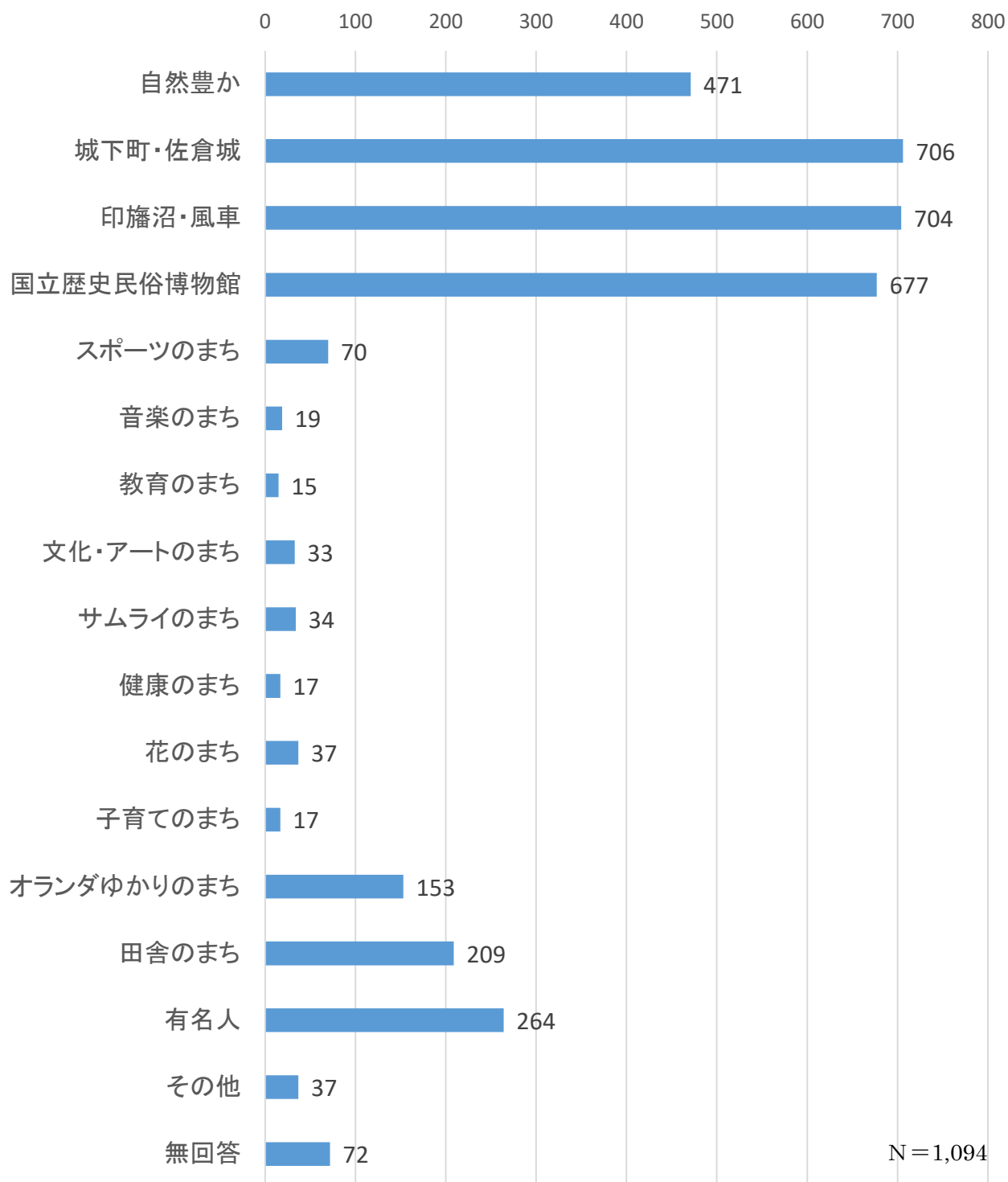
問 14 問 12 で「将来転出したい」又は「すぐに転出したい」を選んだ方に伺います。転出したい理由は何ですか。【あてはまるものすべて選択】



「その他」の具体的内容

○	ペットボトルを捨てられない JR、京成バス少なすぎる
○	一人暮らしの成人等が学習する（場所や内容等）公共サービスがない
○	駅前に本屋も無い・・・文化的に劣っていると感じる。
○	海の近くで暮らしたい
○	海の近くに住みたい
○	教育の就学援助の対応が他市に比べて遅い。いつも建替えて払わされて、払えないと子供が集金袋を学校から配られ白い目で見られる。お金がないのに申請しているのに意味がない。
○	佐倉駅と臼井駅の間に住んでいるが、佐倉方面に出かけづらい(交通費等)
○	若い世代が少ない。
○	政治家、市職員のやる気がない。他人事感覚
○	他の県に住んでみたい
○	退職後、実家に戻る
○	都内に出ることも多いので、できれば都内に住みたい。

問 15 「佐倉市」と聞いてイメージするものは何ですか。【あてはまるものすべて選択】



「有名人」の具体的内容



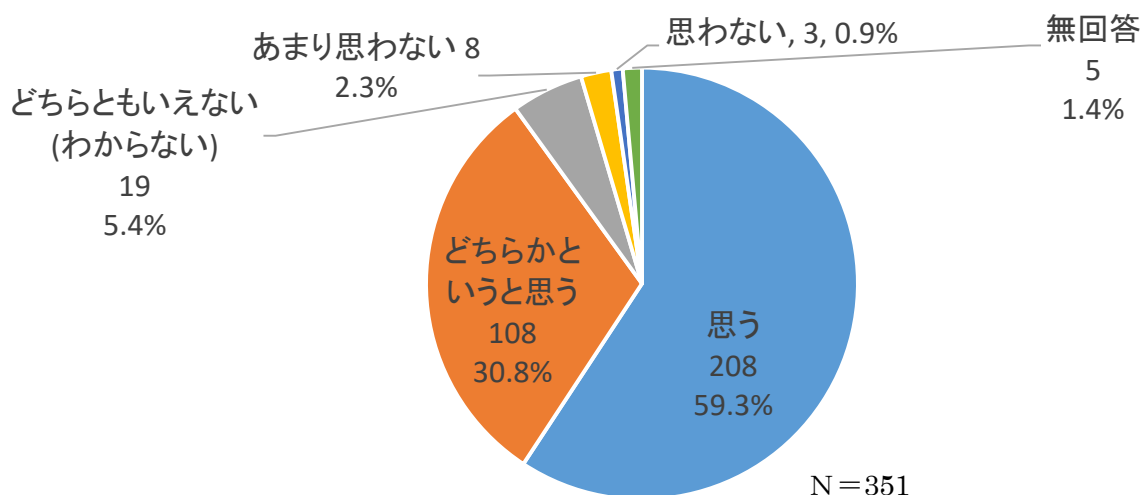
「その他」の具体的内容

○	57 連隊・順天堂
○	J R 佐倉駅・京成佐倉・京成うすい・京成志津・ユーカリが丘
○	Kinki キッズのドラマ撮影地、さくらのおみそ。
○	カミツキガメ、市職員が怠慢
○	チューリップまつり、印旛沼花火
○	チューリップ祭り、花火大会、田んぼ
○	ピンとこない
○	フジクラの工場
○	ユーカリが丘がある市
○	印旛沼
○	印旛沼・風車とチューリップ・ユーカリが丘
○	花火
○	花火がきれい
○	花火大会
○	花火大会・ランニングコース・盆踊り
○	江戸時代蘭学が盛んで、順天堂大学発祥の地。千葉の田舎にあって唯一無二の誇れることは、医学発祥の地である事、西の長崎、東の佐倉のイメージです。以前は、東京、横浜、海外に住んでいましたが、この地佐倉では、他地域にはない「医学」という知的なメリットを、もっとアピールすべきだと思う。
○	佐倉 7 福神、市立美術館
○	佐倉の秋祭り
○	佐倉リトルシニア
○	佐倉高校
○	佐倉高校、佐倉の祭礼
○	佐倉高等学校、佐倉順天堂
○	車だん吉
○	弱虫ペダル
○	「弱虫ペダル」、「きんいろモザイク」などアニメの聖地になっている
○	秋祭り
○	順天堂
○	順天堂、宗吾霊堂、歌舞伎
○	深夜～朝方に奇声を発している方がいる
○	成田空港に近い。都内に通勤できるベッドタウン。
○	浅井忠
○	草ぶえの丘
○	地主蹴庵
○	長嶋茂雄、小出義雄
○	老人が多い

(2) 福祉・健康編

①地域福祉活動

問 16 地域で安心して住み続けるためには、住民同士の支え合いや助け合い等、つながりを大切にする必要があると思いますか。【1つ選択】



問 16-2 住民同士の支え合い等について【自由意見】

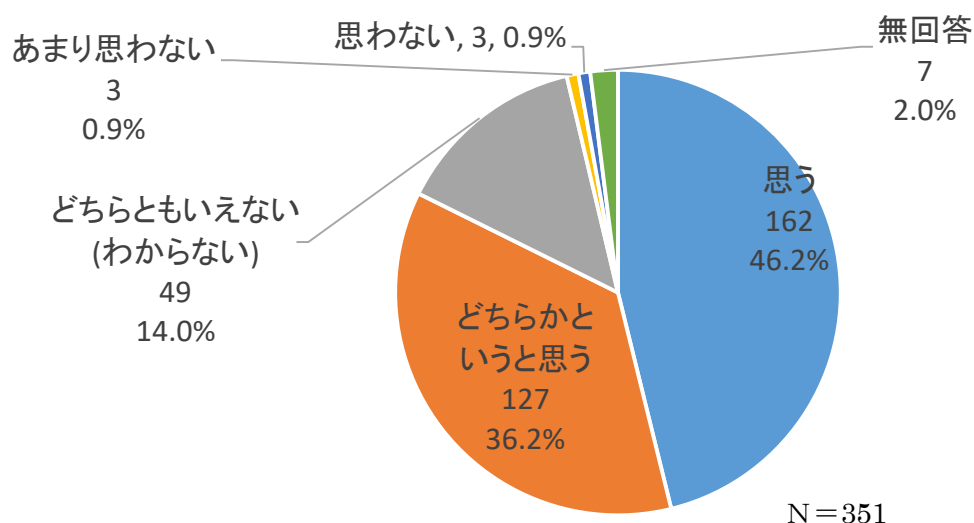
○	親戚が近くにいない人が、子供が病気・ケガで困っている時、預かるなど、助け合いがあると良い。
○	災害の時、隣同士の声かけ
○	高齢化しており住民同士の助け合いは絶対必要である。
○	高齢化が進む中、行政の依頼だけでなく、動ける人が少しでも協力し、助け合う自助が大切。又、住民同士の支え合いを、行政が声を聞いて、指導では無く、助力を出して欲しい。
○	災害時の支援、協力は必要と思いますが、日常生活で過剰に関わりたくはありません。
○	マンションに住んでいると他人との交わりがいやな人も多く人間関係もあまり良くないと思う。町会の催し物でも大人の参加が少なく、その為道路であっても同じ住民なのに挨拶もしない人が多い。
○	自分たちにとって都合が良いことは、一致団結し、行政により大きな裁量を自治会に求める。それ以外は、全て行政まかせで無関心。現在の自治会の性格で、住民の支え合いが本当に必要なのかいささか疑問に思うところがある。
○	自治会参加中の為、脱退する人もいて、これで住民同士が支え合えるのかと疑問に思う。段々年を重ねるので、やはり住民同士の支えが必要かと思うが、割とシビアに考える人が多くなったと思う。
○	近所でできるだけ多くの方と知り合い、声をかけられたら良いと思う。その一方で、町内会離脱者が増えている。
○	プライバシーの問題があり難しいことですが出来るだけ助け合いの精神で仲良くやって行けたらと思っています。

○	「支え合い」は必要だと思うが、現代では理想論だと思う。どんな犯罪に巻き込まれるか心配になる世の中（すぐに人を殺す。日本の法整備への不安。日本の犯罪との向き合い方の甘さ。等）で、「支え合い」に参加したいとは思えない。
○	核家族化が進み、近所付き合いが少なく成った現在、地域の組織もこれにつれ変化することが必要。自治会にも横の連携を取る係が必要。
○	向いの人がペット嫌いなので、気持ちが分からない。以前は柴犬の太郎を飼っていました。
○	佐倉市に限らずだと思います。
○	町内会活動は難しいと思うので、せめて名簿を作り災害時の参考にすると良いと思う。
○	地域で一人暮らしの人が少しずつ増えています。私の住まいには自治会が有りますが、災害など起きた時に、近くの人が声かけするなど、具体的に誰が声をかけるか決めておくことはできないか・・・双方の了解を得られればの話ですが。
○	大切なことだが迷惑をかけてはと思っています。
○	引っ越してきたとき、向こう三軒両隣りにあいさつに行きましたが、町内会のこと等よくわかりませんでした。民生委員とか町内会とか、転入者へのケアがあると嬉しいかも。
○	ライン仲間が全てよい。隣近所に重点をおく社会。
○	自治会の班長２回目ですが夫婦共に協力をして、この１年を喜んでお役をして行きたいと思っています。
○	自分は協力しようとしてもさける住民がいる。日常福祉を（活動）している二面性をみる。
○	濃厚な付き合いは好まない。お互いのプライバシーや価値観を尊重し合いながら、支え合える寛容なつながりが理想。
○	自治会活動が不満（自分も含めて）
○	町内会の運営がますます重要と考えている。
○	環境整備や自治活動等維持の為に必要な活動や会議には積極性が大切だと思っていますが、生活や仕事との両立が難しく、つい忙しいと理由をつけて参加できなくて反省しています。
○	「プライバシー」という言葉が一人走りしている中、どこまで隣人に手を差しのべればいいのか分からない。声を掛けられるのを待っているだけでは遅い気がする。又、世代交代が進む中、住民同士の支え合いどころか、あいさつさえ減ってしまっているので、どんどん難しくなっているのが現状ではないだろうか。
○	深入りの無い程度で。
○	日頃のいい関係を築いておくことが大事と思っています。
○	かなり色々な団体が活躍していると思います。ただ形式的な型どおりの活動が多いとも思います。
○	日常的な声かけ、挨拶。地域で開催される催しに声かけて、参加。
○	年を重ねるにつれて、必要なこと。
○	町内会、自治会の充実
○	人に迷惑に成らないように心がけて行きたい。出来ることは、人のためにやって行きたい。
○	普段仲良ししているとあの大地震の時は、食料の物々交換出来て、助かりました。
○	祭り窓、近隣の家庭からの苦情で縮小中。住民相互の意思、つながりの減少、時代の流れかも？

○	町内会、活動の充実が必要と思います。
○	程よい距離を置いてお付き合いをする。
○	日頃のコミュニケーションが大切だと思いますので挨拶からだと思います。
○	挨拶程度なら良いと思うが、干渉はされたくない
○	思うが周辺の人達はほとんど高齢者であり、古くから住んでいるため、馴染みづらい。
○	隣同士の付き合い方
○	ご近所のお年寄り、体の不住な方など助け合う。プライバシーは、守りつつ。
○	登録制のボランティアシステムなどの充実を計るべき。NPO 団体など活用すべき。
○	社会福祉協議会の愛あいサービスは良いと思う。
○	住環境の保全・災害等への備えなど顔見知りの隣人との助け合いとして必要なことはあります。
○	何か特別なことをする必要は無く、かつての日本人が行ってきた近隣同士の自然な付き合いが、支え合いの基本だと思う。個人の人権を大事にする考え方が間違った方向に進み、弊害が生じているようにも思います。
○	無理のない範囲で地域イベントがあると良い。（お祭り、ゴミゼロ等）
○	最近近所付き合いが希薄になっているため、なかなか支え合い等をするのも難しいと思う。
○	住民同士の支え合い（具体的には自治会）を強制されることのないようにして欲しい。
○	自分が独居老人になった時、小さい自治体で、気にかけてもらえるような、つながりのある自治体になっていたらいいなあ、と思います。
○	役所がもっと中心になって住民同士の支え合いや隣人との交流する場の設定が必要。ボランティアや周辺の人達だけの自主的活動だけに委ねるのは格差を生む
○	災害時の協力や安否確認が必要
○	新しい世帯が参加しやすいような催しものや、ボランティア活動、地域ごとのお祭りや、自警団、消防団などがあるといいかなと思います。
○	支え合い事業を行っている。高齢者が増加しており皆様に支え合いが必要である。
○	自治会の充実、活動
○	高齢化社会となり、近所づき合いは大切。気軽に声をかけ合える人間関係づくりをして、住民同士が支え合い安心安全な街づくりが出来る事が大切。
○	自治会活動について、負担に思うという声を良く聞きます。退会される家庭も増えていて、高齢化に伴い、活動の見直しも必要かと思っています。
○	日常の身近な関係で、心のバリアフリーができている場を、構築する。
○	マンションに住んでいるが、実際にはつながり、支え合いはできてない。
○	自然体が良いと思う！
○	血縁に関わらず、困った場合（子育て、悩み事、仕事、介護、孤独・・・etc）助け合える社会でありたい。誰でも入れるコーヒョップ（安価）、趣味の場などをもっと設けてみてはどうでしょう。
○	昔のような町内会行事はいらないし、無理かと思うが、子育てや高齢者の受け皿、出張施設、サービスなどが住民同士で可能なら理想。
○	高齢者が多いので声かけ運動は必要だと思う。
○	障害者にやさしい自治会であってほしい
○	できることをしてみたい！

○	大きな団地内に転居で入ってくると、お隣り同士でも、世代が違って、話が合わなかったり、理解することがむずかしい。生活の中心が、住まいより、職場の方になっていたりする。
○	住民同士の交流が少ない。町会、自治会等含め、若者、老人等の交流の場を増やすべきでは。
○	感謝の気持ち。心配り
○	独居の方には民生委員の方が折々在宅確認等で活動されていますが、独居ではなくても老人（高齢者）と同居する家族が多く見られるので（和田地区）、高齢者と若者家族の暮しについて、折々様子を伺うようにしたら良いのではないかと思います。いつのまにか進行している認知症等の発症で、家族が実は対応に困っている、どうしたら良いかもわからない状態により良いクオリティーオブライフをお互いに送るにはどう行政の福祉制度を利用したら良いのかのアドバイスができる機会があったら良いと思います。
○	災害の時など、とても必要だと思うが、関わるのを嫌がる人もいるのでそこが難しい。
○	子供と地域で見守る環境作りが必要だと思う。
○	近所の人と交流してもよいが、仕事があるので機会がない。参加できない。ただ、一人で住んでいるので、周囲に知られすぎるのも怖い。
○	日常からのつながりが大切で、まずはあいさつができる事から始めたい。
○	もっともっと声を掛け合い、気軽に話が出来る様、常にそういう姿勢で過ごしていきたいです。
○	我町内会にはゴルフ部、詩吟部、ダンス部、囲碁部等々いくつもの部があって住民同士の親睦を深めている。他の町内会もそうであってほしい。
○	一人暮らしでは近所付き合いと言われても、時間もなくて面倒、メリットが見出せない。家族がいたり、年寄りの一人暮らしであれば大事だと思われる。
○	プライバシー保護の感が強すぎないか？
○	支え合いは必要と思うがお互いの信頼が必要となり、過度になればプライバシーまで、のぞき、のぞかれ、いつの間にか、ひび割れ状態になりかねない。公的なところで、しっかり取り組んでいただくことが大切と思う。

問 17 近所から、困りごとがあるので相談に乗って欲しい、手助けして欲しいと頼まれた場合、協力すべきと思いますか。【1つ選択】



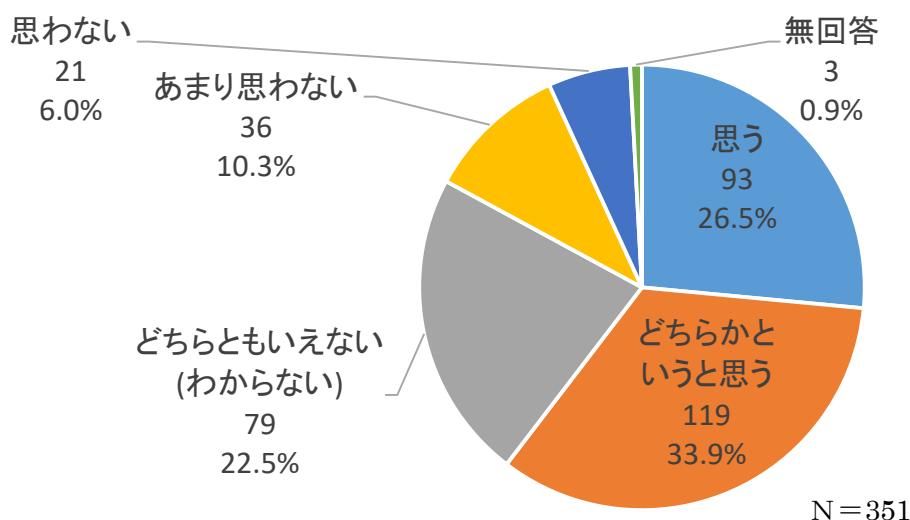
問 17-2 ご近所からの相談、手助けの依頼について【自由意見】

○	程よい距離を置いてお付き合いをする。
○	内容によって、深入りすべきでない場合もありうる。自分に出来ることであれば、解決にむかって協力してあげたいと思う。
○	面倒事じゃなければ
○	相談には乗ってあげたいが、要件による。
○	内容によりけりです。
○	自己中心の人が多く手助けなどに話をしても断られる住民が多いと思う。マンションに住んでいる人は特に。
○	自治会の行事には、無関心若しくは消極的な人の相談や困りごとに対応する必要はない。
○	手助けはお互い様と思うが、つながりがなくて良いと思う人が多いと思う。
○	干渉のしすぎは良くない
○	一緒になり考えて、適当な場へつなげてあげれば良いと思う。
○	女性とはかく口が軽い所があると思います。信頼できる人に頼みたいと思いますが、手助けする事については、出来たらうれしいです。
○	相手が信頼できればいいとわかない。
○	相談内容にもよる。
○	留守をしている場合は飼っていたペットが亡くなった時、心配してくれた方がいい。
○	手助けの程度や親しさにもよるが、自分たちで解決できそうにないときは、班長、市役所などに相談しようと思う。
○	内容にもよると思います。力仕事や買物など手伝えるが、人と人とのトラブルの仲介は出来ない。
○	現在のところ、自分で自分自身のことは全て自分で対応するよう努力している。
○	日頃から、あいさつともう一言添えた関わりが大事だと思います。
○	秘密義務等々
○	日頃の付き合いを大切にする。
○	現に今、隣近所では、つき合いがないので、どこまで踏み込めるのか、わからない。
○	公共の機関に相談をした方が良いとアドバイスをしたことで実行され喜ばれたことがあります。
○	何かあったら困るから近所の人とはあいさつ位でしょうね通常は。
○	プライバシー等が守られない人には相談しない方が良い。自分の考え、価値観を、押し付ける人々もいるので難しい場合が多いのではないかなと思う。
○	話を聞くことは出来ても、安易に相談には乗れない。
○	妻がスマイルサービスやファミリーサポートをやっているが、あの様な取組が拡充するのが好ましいと考える。
○	個人情報保護等の観点から、なかなか声かけしにくいと感じています。
○	まず、金銭については断ることをはじめにつづることが大切。そして、出来ることと出来ないことの判断をきちんとして、返事をする。出来れば第三者も一緒にいると、言った言わない、があまりあやふやにならない気がする。相談された日時、場所、内容は相手に許可を取り、メモをとっておくこと。
○	内容程度を考えてから。
○	巻き込まれるリスクも考える必要がある

○	人によって玄関先のつきあい、奥座敷までのつきあいとありますし、プライバシーの問題もあるので、ケースバイケースと思っています。公的な支援と相互にアドバイスできたらと思います。
○	金銭面以外なら協力したい。
○	普段からの交流が、あまりないので、なかなかというのが実感です。
○	日常的なつながりがないと、人に助けは頼めにくい。
○	町民、自治会員の高年齢化の対策。空地、空室の対処
○	出来る事は、人の為にしたい。
○	近所の草取りを年2回行っているのですが、日程の連絡が来ない。やりたくても出来ない。
○	町内会、会長、副会長が中心となり相談の窓口が良いと思う。
○	相談の内容によります。
○	協力したいと思うが在宅している時間が少ない為、難しい。
○	若天性、アルツハイマーの友人のために、ジムに一緒に通ったり、買い物につき合ったりしています。
○	よほど親しい関係でないと、出来ないし、個人単位では、後にトラブルになる可能性もあるので、迂闊には、やれないと思う。個人情報の問題もあるし、責任も伴うから。
○	手助けしたいが他人の家庭内の事情に直接的に立ち込るとトラブルのもとになるので、自治会や団体が間に入る形がいいと思う。
○	無論、手助けの相談があれば聞きますが、“困りごと”の内容次第で、複数当事者間の調整を要することとなれば、簡単にはいかないと思います。
○	その人その人によって考え方が違うと思うので。
○	素性のわからない人とは関わりたくない。（怖い）
○	近所間の会話の場を増やし、お互いに話しやすい、相談相手や手助けを求めやすい環境を作れたら良いと思います。
○	できる範囲でできる人がするのは良いことだと思いますが、これも強制されることがないようにして頂ければと思います。
○	プライバシーの問題などもあると思うが、自分ができることであれば、よろこんで、役に立ちたいと思う。
○	お互いに不在時や困りごとがあった場合、隣人と話し合い出来るような環境づくりが大切。最近自治会に入る人が少なくなっている。脱会も多い。
○	訪問リハをしている中で、食事のとれない高齢者や障害者が多数いるが、家族に問題が多く介入が難しい。
○	賃貸マンションに住んでいるので、近所づきあいが少なく、今現在、相談を持ちかけられても困ると思う。どんな相談でも、無料で助けてくれるところがあると、紹介できるので、良いなあと思う。
○	お年寄りが多く健康に幾分不安を感じている人が多くなっているので自治会や社協でお手伝いを行っている。
○	個々の判断だけで依頼を受けるのではなく、関係機関の協力を願いながら対応することが大切と考えます。
○	ご近所同士の争い事、事件もあるので、日頃から信頼を築いておくことが第一。
○	相談、手助けの内容によります。

○	私のおとなりには独居老人の方が住んでおられます。食事の管理や通院など大変そう で、時には、我が家のカレー、炊き込みご飯など、お持ちすることがあります。 全ての人が年を取り、老いていきます。安心して年を取れる社会を作りたいです。
○	専業主婦のため近所からヘルプ！！やら困りごとを聞かされ、私が何とかしよ う！！と思うのはいいのですが、行政にTELすると結構タライ回しです。
○	町内会に参加しないのは自由ですが、参加もしないで町内会や近所について意見を 言う者がいて困る。こういう取り決めに市で進めていただきたい。
○	自身が毎日うちでいろいろ相談に乗ってくれる人がほしい
○	一度相談にのて、首をつっこんだら、自分自身がひどい目に合ったので、③にしま した。みなさん、もっともなことを言って、自分の意思を通そうとするので、結 局、自分のわがままを通そうとするし、近所だと、声の大きい人と、もめたくない ので、その人の意見が通ってしまう。
○	行政担当者をもっと町に出て市民の生の声を聞いて、行政に反映すべきである。
○	日頃より「おたがいさま」で接待していたら、依頼しやすいのでは!!
○	独居の方には民生委員の方が折々在宅確認等で活動されていますが、独居ではな くても老人（高齢者）と同居する家族が多く見られるので（和田地区）、高齢者と若 者家族の暮いについて、折々様子を伺うようにしたら良いのではないかと思います。 いつのまにか進行している認知症等の発症で、家族が実は対応に困っている、 どうしたら良いかもわからない状態により良いクオリティーオブライフをお互いに 送るにはどう行政の福祉制度を利用したら良いのかのアドバイスができる機会があ ったら良いと思います。
○	出来る範囲であれば、協力したい
○	人として当たり前
○	話を聞く事はできるが、なるべく公共の援助を受けるようにしてもらおう。
○	今までは何もなかったのですが、今後は前向きに見当していきたいと思います。
○	町内に関わることであれば相談可。個人的な内容はNG。
○	相談すべき適切な場所があると思う
○	出来るなら相談に乗ってあげたいと思っている。市に相談して民事不介入です から、と言われるとがっかりする。
○	困りごとの種類による。問題が大きくなったり、手伝ったことで巻きこまれてもこ ちらが困ってしまう。住民同士に任せるのではなく、行政がきっちりやるべき。む しろプロの手を借りる等、雇用を増やすとかにつなげるべきでは。
○	責任を問われることの度合いによる。例えば車での送迎等の中、事故にあった場合 等。
○	例えば隣の家の方から声をかけられれば相談にも応じられますが、現実には、親しく していない限り声をかけられることはないと思う。
○	現在は、個人のプライバシーの問題が有り、手助けが、出来ない方が多い。

問 18 日頃の「あいさつ」や、近所の方の異変に気がついた際の声かけ等、住民同士の気づかいができていますか。【1つ選択】



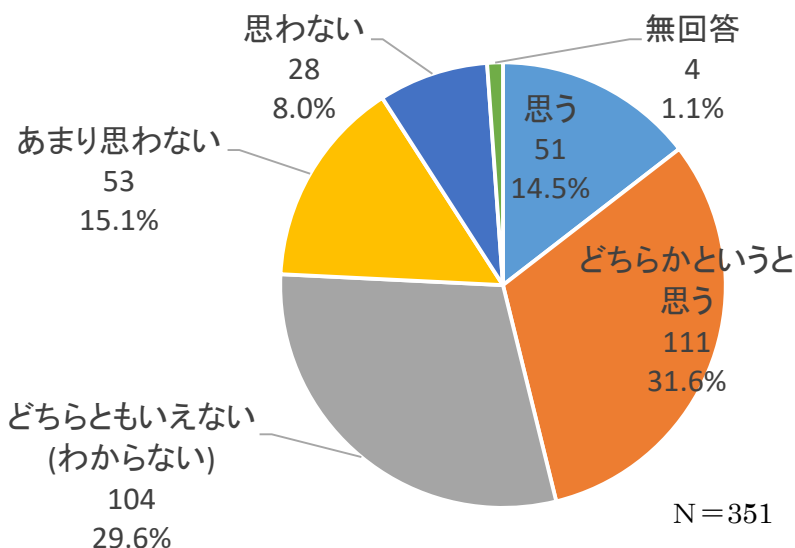
問 18-2 住民同士の気づかいについて【自由意見】

☐	同じ方向に行く場合、車に乗せてあげたいと思うが、事故が起きてしまった場合のことを考えて、声をかけないようにしている。
☐	気づかいとおせっかいは別である。人のプライベートなことまで噂されるのは迷惑
☐	自治会で安否確認を定例的に実施するようにする必要がある。
☐	向こう三軒両隣（特に両隣）の付き合いは難しい。
☐	同じアパートの住人同士あいさつをしている。
☐	すれ違いの挨拶はしますが、異変に気付くほどのコミュニケーションはありません。適度な距離間と思います。
☐	自己中心の人ばかりと思うので他人の事に関わらない人ばかりに感じる。
☐	最近の人は余り挨拶もしない人が多くなったと思う。基本挨拶からと思うが・・・。
☐	一人暮らしや高齢者へのケアは必要と思う。
☐	お目にかかっても、挨拶をしない方がいらっしゃいますが、私は、見返りを望まず一方的に挨拶をしています。すると一日気持ちが良いです。
☐	接点が少ない。マンション内で「気づかい」が必要とされていると思えない。あいさつがまともに出来ない大人、マンションの管理規約すら守れず、自分たちの都合で駐車禁止エリアに無断駐車する大人が多いことに驚いている。
☐	ペットが亡くなった時も回覧板を回していない。
☐	いつもすれ違う周りの方、あいさつして下さいます。
☐	新興住宅地のため、自分の通り以外の住民がわかりません。自治会活動も薄いため交流もなく、知人以外は住民かもわからず、気づかいもなかなかできません。
☐	相手の負担にならないように、気づかい出来るようにしたい。
☐	私は気にかけていますが、回りの人がどんな様子なのかよくわかりません。
☐	人それぞれ、他人との間合いの程度が違うので、各人に合わせて適切な関係を保つ気遣いが必要。
☐	ごく親しければ声かけすると思いますが、単に近所というだけでは難しいと思います。
☐	転入者ばかりの団地。人のつながりがあったらいい。

○	「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」を言うのはあたり前。住民同士でなくても。一期一会なのだから。近所で見かけたことのない人でも、実は新しく越してきた人かもしれない。違えば、あやしい反応が返ってくるはず。
○	日常的な声かけがないと、異変に気づいても声かけにくい。
○	平等に、自分勝手にする事はだめ。
○	町内会に入会しないと無視されがちである
○	お互いに多少の遠慮があると思います。特に直近で引越しされてこられた方は遠慮されていると思います。
○	廻りに子供が多いので気をつけていますが、口は出しません。小学生達の、あいさつが出来ていないと思う。
○	同じマンションの人でもあいさつを返してくれない大人、子供がいる。
○	子供に対する「あいさつ」指導と併せ親（大人）に対する啓蒙が必要
○	あまり深入りしない。
○	日頃から交流のある人は問題ないが、孤立した人に関しては、あらかじめ登録してもらい、自治会とかで、対応する必要性が、出てくると思う。
○	あいさつはだいたいコチラからしている。相手からして来る事は殆どない。なのでゆくゆくはこちらもあいさつしなくなるかも。
○	勿論、顔見知りの隣人に明らかな異変が起こっていると感じられた時は声かけすると思いますが、そこまでの判断は簡単とはいかないとも思います。
○	中には、人と関わりたくない人や、人付き合いが上手くない人もいるのは事実。お互いに意識過剰になる必要は無く、自然体で接すれば良いと思う。
○	居住しているマンション内であいさつはしますが、異変があっても気づかないと思います。
○	自治会に投書箱を設けるなどして、人の悪口を言わないようにしないと、人の交流などありえない。
○	少なくとも朝隣近所の人への挨拶は大切。“隣は何をする人ぞ“というのは嘆かわしい。昔の田舎育ちの自分としては今の状況に違和感あり。
○	賃貸マンションに住んでいるので、わからない。マンション内の住民の交流はない。
○	日頃からのお互いに良い付き合いが必要である。
○	風通しの良い近所づき合いが出来ていると自然と異変に気づくこともできる。
○	長年住んでいますが、個人個人の生活に簡単に入れず、気づかいながらも手伝う事が出来ず残念です。
○	自分自身は、マンション内の方と、合ったときは必ず挨拶をしている。
○	自然体が良いと思う！
○	あいさつは、仕事柄どなたにもする習慣があります。ただ先日、小さなお子さんが、道にとび出してしまう出来事をご家族にご報告（危険性）した所、あまり喜ばれませんでした。子供を社会みんなで育てる意識を高めて行きたいと思います。（願います）
○	救急車などが来た翌朝などは、どこのお家とかは何故か皆知っているが、最近あの人を見かけない・・・ということには無関心。お隣とはあいさつはするけれど家庭内のことや近所の噂話は、皆無かな。
○	あいさつ以上の事がなかなかできない
○	田舎とは言え移住してきたりする方が増えてきており、治安が良いとは限らないので、市や、警察で見回りを強化してもらいたい。

○	まちづくり協議会の方々が毎日挨拶運動をして下さっていて小学生の息子が通学するとき安心して送り出せます。
○	あいさつはできている。最近、みなさん忙しく、働いているので、なかなか、話をする時間もない。時間のあるのは、定年退職した男性だけなのでは？
○	近年の世相として、相手に干渉しない傾向がある。浅会いである。
○	「おたがいさま」の気持ち
○	普段最近おかしいなと思ったご家族への対応で、マイナス面（異変）にはアプローチしづらいです。
○	気遣いとおせっかいの感じ方に個人差があるので、難しい。
○	あいさつは必ずする様にしています。
○	あいさつはするが、異変は突っ込まない。
○	私自身、通勤等にてほぼ市内にすることが多いため、接点そのものが少ない。平日日中の催しが多く参加しづらい。
○	挨拶は大切！
○	アパート内外問わず、挨拶も限定的。アパート付近の住民がアパートのごみ捨て場に指定日以外にゴミを捨てていく等、印象は良くない。何かあってもわからない。
○	あいさつは心がけているが、積極的に交流を持とうとしている人があまりいない気がする。
○	田舎の都会という雰囲気
○	気づかいにより学習できたことを次に生かすこと。善意に対して自分が必要でなければ、次にはそう気遣いされないようにする。いずれにしても、きちんとありがとうと言えるようにと思う。
○	いろいろ、社会問題が多いので、声がかけにくい。

問 19 地域行事への参加や協力等、住民同士の交流やふれあいができていると思いますか。【1つ選択】



問 19-2 住民同士の交流等について【自由意見】

○	サークルにはなるべく参加しているつもりでも、自分に合わない場合、ストレスを感じるのでつい選んでしまう。
○	子供が社会人になると近所との交流もなくなり、皆それぞれ忙しい。転入出もあり、近隣の居住者もわからなくなっている。行事も参加、出席するメンバーは決まっており、参加しない人はいつも欠席です。

☐	自治会の行事がとて多く、子供のころからいろいろと手伝いをしてきた。自分の住む地区は十分交流ができています。
☐	機会があれば、参加したい。
☐	あいさつはできているが、地域行事への参加が少ない。少子化で子供会の閉会も多くなり、世代間の交流ができない。
☐	自身があまり気にしていないせいか、情報が少なく思います。
☐	交流を持とうとしてもその役をやる人もいなく自分中心の行動になるのでむずかしいと思う。
☐	なかなか難しい
☐	あまり深入りしない様な生活習慣が私自身についています。
☐	市民プラザを利用したい。
☐	普段仕事しており、土・日も外出しているので、住民同士の交流を感じる機会は少ないのですが、地元のお祭りに参加すると佐倉が一番！と改めた思います。
☐	夏祭りはあるが、盆踊りのシニアの方と子供以外あまり参加しない。清掃も公園のみで、道路も掃除しないので意識が薄く役員だけの状況かと思っています。
☐	自治会の清掃活動は参加するが、祭りやバス旅行などはおっくうになってきた。
☐	趣味のサークル等に参加して交流を深めたらと思うが、なかなかそのチャンスがない。
☐	自治会等に参加すべきである。
☐	足腰が悪い人への配慮が足りないと思います。
☐	あまり出来ていません。（今迄仕事をしていたのでなかなか馴染めない）
☐	地域や人によるので何とも言えない。
☐	同上
☐	これに関しては、個人的なことだが、隣町から嫁に来たら、「よそ者」と呼ばれている。なので、できるだけ、逆に祭りの手伝いや行事に参加するようにしている。「死ぬまでよそ者」といわれているので、それならそれなりの生き方をしてみようと思っている。
☐	自治会活動がしっかりしているので、どちらかというと、できていると思う。
☐	自治会がないため、行事やふれ合いはありませんが、あいさつや、子どもや動物を通して近所とのふれ合いがあり、自然に交流ができています。
☐	リタイア組に元気でいてもらうため、好きなものや趣味を通じて交流を拡げていく。任務を分担してもらう。
☐	全体を考え、より良い方向に心得て行きたい。
☐	ご近所の人達と絵画見にいたり、バイオリンコンサートも行ったり楽しくしております。
☐	あまり関わりたくないのが本音かも？
☐	ここに外出する努力が必要かと思います。
☐	脳梗塞の後遺症のため人の多くさん集まる所には行けません。敬老会の案内もいただきますが、片目が見えず耳も悪いので出席できません。
☐	町内会があるので、今はあると思う。
☐	趣味を通しての付き合い
☐	高齢者の方が主体の傾向があり、若い方は人によっては参加できる。または、したいと思える状況にない。
☐	町内会で行われる行事にできるだけ参加。

○	これからますます高齢者が増えていくので、リタイアした能力や体力のある人を生かして、地域の活性化を計るべきだが、それぞれの地域性もあるので、一律ではなく、特性を反映し、地道でも長く続けられる、個人の負担が少なく幅広い年代が参加できる行事や交流会を、数多くつくれば、それぞれの興味のあるイベントなりに参加する人も増えると思う。
○	自治会に入っている。
○	転入して24年、同じ所でしか経験がないのですが、町内会以外の交流の場についてまだ関心がない。というか、もともと地元への行事には参加しようという気になるところまでいっていない。
○	土日の交流が多く参加は出来ない。
○	同じように個人個人考え方が違うと思います。
○	マンションに居住していますが、隣の住人の顔を見たことがない。
○	自治会役員を強制されて困っているのので、そういった交流は避けています。暇な人が毎日忙しく必死に暮らしている人の事情も考えず、自分たちの理論を（住民は強制加入）押し付けてくるのが非常に迷惑です。
○	まわりは老人世帯ばかりで、裏のお宅のリビングや換気扇から出される、タバコなどの異臭に毎日、1日中、悩まされる上、のども痛み、副流煙によるガンを心配しているものの・・・（二重サッシにしても、ヘビースモーカーの為、家の中のいろんな物に臭いがつく）今さら引っ越しもできず、又、雑草を全く取らないので、種がとんできて迷惑しています。回覧を読まず、新聞もとらず、上から目線の古希（七十路）も過ぎた老人のモラル、心の教育など無理でしょうか？不愉快でとても交流どころではありません。
○	交流そのものがわずらわしくなるような場の設定は注意した方がよい。殆どの皆さんが交流することは否定的ではないと思うが、義務的になると躊躇してしまう。
○	お祭りには参加しているが、回覧板などが回ってこないのので、清掃活動や自警などには参加したいができず、残念。
○	草取りや夏祭りにも参加する人がかなりおり、又、困っている事をお手伝いしており良いと思う。
○	参加できる行事・活動内容があまりない
○	仕事があると住民同士の交流が難しい。負担に思うことがある（自治会等）。
○	年齢がいく程、参加し交流したいと思うが、仲間作りのむずかしさがあり、若いうちからの交流が大事と思う。
○	土、日も、外出が多く地域の行事に参加が出来ない。
○	子どもがいるので、子育て支援センター、老幼施設に妻と子が良く行っている。そこでの交流をよく聞いている。
○	自然体が良いと思う！
○	行政の介入（介護保険、道路等環境整備等）割合が増えたことにより、自助、公助について負担が軽くなるとともに、交流が希薄になりつつあることが気になる。
○	秋祭り、時代まつり、老人向けの旅行は盛んな様ですが、働き盛り世代のイベントが少ない様です。セルフリラクゼーション（体操、ヨガ、ウォーキング・・・etc）、健康管理をオシャレなイベントでできないもののでしょうか？企業やメーカーなどにスポンサーになってもらったり・・・いろいろアイデアはあるかと思います。
○	自治会のトップは、前年度と同じことをして、行事をこなして、交流があったかのように思っているが、実際は、気の合う同志しか関係を持っていない。近くの他人より遠い家族で用を済ましている。

○	学校以外、なかなかできていない
○	高齢化が進んでおりすべての住民が交流出来るとは限らない。
○	佐倉の秋祭りで、息子が山車をひきたいと言った時、住んでいる地域に山車はなかったのですが、知り合いの地域でひかせてもらえることができ、感謝しています。金比羅祭りが定期的にあることで、住民同士が顔を合わせる機会が保たれ、活性化につながっていると思います。
○	人との交流ができなくて困っている
○	交流しようと思って、行事に出てくる人は、少ないと思う。何かもらえるとか、得なことがあるとか、そういうことには、たくさん参加するが、ゴミ拾いや草取りなどには、いつも決まった人しか、参加しない。
○	佐倉市は他市町村と比較して、機会は多くある地域であると思うが、仲に集まらない。
○	町内会への参加。
○	子供が小さかった時は、子供会を通じての交流が多かったが、今は、ほとんどない。
○	負担感がある
○	自治会の催し物も、高齢化に伴い役員でいる事が負担になって来ていて、役員も断り、外に出なくなって来る。交流の場の作り方も工夫が必要になってきている。
○	行事があれば、出来る限り参加をし、コミュニケーションを取れる様にしています。
○	私自身はあまり参加していないが、家族がしているので、世帯としては交流できている。
○	子育て世代に自治会は、負担でしかない
○	近々、近隣の住民同士、10世帯で食事会を開催することしました。このような交流を広げたいと思っています。
○	学校施設開放の制度を利用したスポーツに参加したことがあるが、その時しか交流はない。
○	転入してきてもあいさつがなく、どんな人なのかがわからない。
○	行事、協力等、出来ている場合は、やはり、声かけ、言葉かけあいさつ等基本的な事が必要と思う。
○	高齢者になると、交流が無い方が、多い。
○	そうは思いながらも、あまり関わりたくない。